

2024年12月26日所長会見 所感

- 本日、私からは2点お伝えいたします。
- 1点目は、21日に長岡市で実施した東京電力フォーラムについてです。お手元の資料をご覧ください。
- 新潟市と上越市のサテライト会場とあわせ、458名の皆さまにご来場いただきました。この場をかりて、御礼申し上げます。
- 本フォーラムは、これまでの地域説明会以上に、より多くの県民の皆さまからのご意見を伺い、ご質問にお答えしたいと考え開催したものです。
- エネルギーの重要性、放射線に関する知識、当発電所の安全性とお伝え内容も多岐にわたりましたが、有識者とのトークセッションでは、多くの方が、頷きながらお聞きになられていたことが印象的でした。
- 私自身、放射線に関して、専門家の先生のお話を聞き、より一層勉強をしなければならない、との想いを新たにしました。
- また、ご来場の方々からは、「原子力発電は何となく不安」といった声の一部ございましたが、「エネルギー事情や放射線の知識が深まった」、「屋内退避の有用性が良く分かった」といった声も多くいただきました。
- 2ページ目には、アンケート結果をまとめております。いただいた声をしっかりと発電所運営に活かしていきたいと思っております。

- 本フォーラムは初めての取組であり、至らぬところもあったかと思いますが、多くの皆さまにお越しいただき、エネルギーや原子力発電について考えていただける、一つのきっかけの場になったのではないかと考えております。
- 今後も、様々な場や手段を用いて、県民の皆さまのご不安や疑問にお答えするとともに、発電所の状況や取り組みなどについて、丁寧にお伝えしてまいります。
- 2点目は、今年最後の会見となりますので、この1年の振り返りと来年の抱負についてお話をさせていただきます。
- 今年は、新年初日から能登半島地震が発生しました。プラント設備への影響がなかったことはもちろんのこと、所員がすぐに参集し、情報収集や通報が的確に行われたことを、とても頼もしく感じました。
- 4月には、7号機に燃料を装荷し、その後、設備の健全性を確認する中、6月には、技術的に原子炉を起動する準備が整いました。
- 6号機についても、先月、来年6月には燃料装荷後の健全性確認を実施できるよう、安全対策工事や使用前事業者検査を、順次進めていることをお伝えしました。
- 参考として、お手元に6号機の主要な安全対策工事の資料をお配りしております。赤枠で囲っているものが、現在も工事を進めているものです。

配管貫通部の止水対策や、火災防護対策などは数が多く、大物搬入建屋の建て替え工事は、この中でも大きな工事となりますので、引き続き安全最優先で進めてまいります。

- なお、資料に実施済みとあるものも含めて、原子力規制庁による使用前確認をもって、工事の完了と考えております。
- また、プラント設備といった観点だけでなく、コミュニケーションに注力した1年でもありました。
- 私自身、あいさつ運動やサンクスカードの活動を2年以上続けており、サンクスカードについては、延べ6,000枚以上をお渡ししました。
特に警備員の方はヘルメットに多くの志ステッカーを貼っていただくなど、協力企業さまにも喜んでいただいております。
- そして現場にも足を運ぶ中、ワイガヤレビューなどで活発な議論が交わされるようになり、発電所内が活気づいていることが、目に見えてわかるようになってきました。
- 加えて、社外からご視察などでお越しになられた方々からも、「『ご安全に』、『おつかれさま』といった挨拶が取り交わされて、よい雰囲気だと感じた」といった声をいただくようにもなりました。
- 一方で、今年は災害が多く発生した1年でもありました。一人ひとりがリスクへの想像力を働かせ、より現場でのコミュニケーションを取っていれば、防げた部分もあったと考えています。
- ワイガヤレビューや班長対話などの取組を通じ、現場での安全行動の徹底、パフォーマンス向上に繋がられるよう、当社と協力企業のチームアップの在り方を考えてまいります。
- 最後となりますが、来年も「安全性の追求に終わりはない」との考えのもと、目指すべき姿について、更なる高みを目指してまいります。

- そして「地域を愛し、地域に愛される発電所」、「発電所で働く全ての人誇りを持って、笑顔で生き活きと働く発電所」を実現するとともに、再稼働にむけ尽力してまいりたいと考えております。

- 本日、私からは以上です。